

進路だより

令和4年3月22日
都立中野特別支援学校
第5号
校長 和田 慎也
担当 小田原 紀子

～卒業生の皆さん～



御卒業おめでとうございます

早いもので、今年度も残すところ、数日となりました。昨年度に引き続き、今年度も新型コロナウイルス感染症の影響で通常の学校生活ができないことが多い一年となりました。特に進路指導は外部との関わりの中で進めていくため、突然の変更があったり、例年どおりの取り組みが困難なことがあったりしました。そんな中でも、生徒のより良い進路のため、専任が中心となり、進路指導部の担当が努めてまいりました。生徒たちは通常の実習や体験に衛生面への配慮が加わり、苦勞したことも多かったと思います。御家庭にも御理解、御協力いただきありがとうございました。今号では、専任からの報告と共に、今年度に取り組んだ進路指導などについて、各学年より報告いたします。

【専任より】

■卒業後の生活にむけて

2月28日（月）に第3回保護者向け進路研修会が行われました。社会福祉法人新あした会常務理事の亀山和秀様に御講演いただきました。亀山様は本校卒業生の保護者様ということもあり、私たち教員では話せない現実的な話をたくさんしてくださいました。中でも、印象に残った話がありました。

「進路を決めるのに、親の思いをおしつけていませんか？」という言葉は「進路を決める際の主役は誰？」ということを変えて考えさせられました。私自身も「〇〇が得意だから、□□がいいだろう」「(本人の意向を聞かずに) 企業就労を頑張らせたい」と指導をしてしまうことがありました。そんなこと保護者の皆様もありませんか。進路を決める時に「みえ」や「思い」を優先してしまっていないですか。進路を決めるのに「本人がより良い人生をおくるためにベターな選択」をできることが大切だと思います。ベターな選択ができるように、春休みにお子様と将来のことを話してみたいはいかがでしょうか

■身だしなみについて

3月4日（金）に高等部3年生は身だしなみ講座を行いました。例年は、講師の方に来校いただき、身だしなみについてお話をしてもらっていましたが、今年は、花王の方に御協力いただき、オンライン授業にて行いました。「スキンケアの必要性」や「身だしなみの整え方」についてのお話をいただきましたが、日々の積み重ねの大切さを改めて感じました。「髪を乾かすのに必要な道具は？」という問いに「ドライヤー」を答えることはできるのですが、実際に使用したことがある生徒はかなり少なかったです。「高等部になってから」「社会人になってから」始めるタイミングはそれぞれだと思いますが、身だしなみについては、タイミングが早すぎることはないです。ぜひ、年度が変わるタイミングに、ドライヤーの使い方からはじめてみてください。

今年度も、本校の進路指導への御理解と御協力ありがとうございました。

(吉田)

【専任より】

■合理的配慮を考える…

2016年4月に障害者差別解消法が施行され、国や自治体、企業や事業者等に、「合理的配慮」の提供が義務化されました。これに伴い、特別支援学校の進路指導の現場においても、現場実習前の面接や採用選考、進路先との契約の場で、「配慮すべき点はありますか？」と聞かれる場面が増えてきました。他方で、保護者の方に進路希望をお聞きすると、多くの方が「支援が充実している」「障害のある方への配慮がある」といった希望を話されます。進路先や実習先において、御本人に対する合理的配慮は、どのように決まっていくものなのでしょうか？

先日の保護者向け進路研修会や現場実習の反省会で、合理的配慮についての話を聞く機会がありました。どちらも共通して言えることは、合理的配慮は御本人と進路先（実習先）とですり合わせ、妥協点を見つけて合意していく配慮のことで、どちらかの一方的な希望や要望によって決まるものではないとのことでした。進路先（実習先）にもそれぞれ事情があり、お互いの歩み寄りが必要のようです。

高等部3年生は、今まさに進路先との契約が行われていることと思います。

「自分は、ここまでなら頑張ることができる。」

でも、その先は（現時点では）難しいから手伝ってほしい。」

お互いの歩み寄りの視点で、御本人にとっての合理的配慮を考えてみてはいかがでしょうか？

今年度も、本校の進路指導への御理解と御協力ありがとうございました。

（田邊）

<小学部>

今年度も残念ながら、小学部は5、6年生の就業体験が中止となりましたが、専任が出前授業を行う機会を設けることができました。出前授業を行う前は存在すら知らなかった「進路の先生」が授業を終えてからは、「知っている先生」になったことは嬉しいことでした。校内ですれ違ったときには、「あっ！吉田先生だ！こんにちは。」と自分たちから挨拶する姿が見られるようになりました。「こんにちは。しっかり挨拶できたね。」と良い挨拶を褒められて得意気な子どもたちでしたが、「身だしなみ、どうかな？」と言われて、慌ててシャツの裾を整える姿もありました。思いもよらぬ抜き打ちチェックに、授業だけでなく、日頃から挨拶や身だしなみを整えることの大切さを実感したと思います。

先日、5年生の授業で「次は何年生になりますか？」と尋ねたとき、子どもたちは「6年生！」と自信をもって答えることができました。しかし、「6年生は4月から何年生になりますか？」と尋ねると、「7年生かな？」「わからない」という答えが返ってきました。子どもたちにとっては、中学生になることもまだまだ先の未来なのだと実感しました。高等部を卒業した先の未来は、まだまだイメージすることも難しいのです。それでも、進路の専任と関わる中で、子どもたちの中に、「学校には、学校を卒業した後の将来のことを一緒に考えてくれる先生がいる」ということを覚えておいてほしいと思います。次年度も小学部の子どもたちが将来について少しずつイメージをもっていけるような進路指導ができるよう、専任と相談しながら進めていきたいと思っています。

（小田原）

<中学部>

中学部1年の「職業」では、働く前に身に付けておいて欲しいことを学習してきました。その一つめは「身だしなみチェック」です。毎日入浴しているか、寝癖がないか、爪は切っているかなど清潔を保つことなど働くにあたっての基本的なマナーが含まれています。毎回取り組むことで、自分で気付き見直す力もついてきました。二つ目は「挨拶練習」です。場面に合わせてどんな言葉で挨拶をするか、お辞儀も含めて練習しています。挨拶練習をすることで、職業だけでなく、作業学習の中でも、報告や返事ができる生徒が増えてきました。その他に、働く時に大切な事を確認しながら、1学期はテーブル拭き、2学期は軽作業、3学期は手すり拭きに取り組みました。また卒業生が実際に働いている映像を見ながら、仕事をイメージできるような取り組みもしています。今年度は就業体験が新型コロナウイルス感染症拡大のため難しく、見学のみで、学んだことが実際の現場で生かせずに残念でしたが、将来に向けて、まずは身に付けた事を学校生活の中で生かしてほしいと思っています。

（鈴木）

<高等部1年>

コロナ禍とはいえ第二回職場見学が中止となってしまい、誠に申し訳ありませんでした。2年生は進路選択に向けて大切な一年となります。良いスタートを切るためにも、改めて「社会への準備～2年生の過ごし方～」をお伝えします。

① 休まず遅刻せず毎日学校に来る！

すべての実習先の方がこのことを求めます。決まった時間に起きて、行くべきところに行き、決まった時間内に活動（仕事）を行うこと。これを毎日続けること。これができる初めて社会人の一員となります。

② 就労意欲の向上

学校との違いをしっかりと知る必要があります。「働きたい」という気持ちは実習の時に必ず行動に出ます。実習先はその意欲を、実習生の行動一つ一つから判断します。心の準備をしておきましょう。

③ 約束・ルールを守る

たくさんの人と共に過ごす学校や実習では、自分のやりたいように過ごすことはできません。それぞれ「目的」があり、その目的を達成するために決まりやルールがあります。「学校でできないことは、実習でもできない」ということを学校・福祉施設・企業と共通して考えています。

以上が、社会に出る準備として取り組んでほしい大切なことです。ぜひ、自分の希望する進路先に挑戦するためにも意識していきましょう。来年度も保護者の皆様の御協力をよろしくお願いいたします。

(黒澤・宗形)

<高等部2年>

2月24日に進路学習の一環として、「着こなし講座」を行いました。株式会社三峰様に講師となっていたいただき、社会人の服装やコーディネートの基本を教えてくださいました。今回のテーマは「面接に臨むときの服装」ということで、各クラスで三峰様からお借りした服をもとに実際にマネキンにコーディネートしました。どのクラスも服装選びのポイントをしっかりと押さえて、正しい服装をコーディネートすることができていました。今回、学んだポイントを3年生での現場実習で生かしていけたらと思います。

今年度の現場実習では、新型コロナウイルス感染症による急な変更もありましたが、事前面接の付き添いや通勤練習等の御協力ありがとうございました。生徒たちは初めての实習に緊張しながらも、福祉施設や企業でそれぞれがたてた目標にそって取り組むことができました。3年生になると卒業後に向けて、本格的な現場実習が始まります。分からないことや気になることがございましたら担任や進路担当まで気軽にお問い合わせください。来年度は進路の決定へ向けて、より御協力をお願いすることが多くなります。引き続きよろしくお願いいたします。

(森井、和泉、岸)

<高等部3年>

現場実習をはじめ学校の進路指導に対する御理解・御協力、誠にありがとうございました。保護者様の御支援があり、生徒たちはそれぞれ卒業後の進路を決めることができました。

3月4日（金）に進路報告会を実施しました。進路先・将来の夢・頑張りたいことをみんなの前で堂々と発表することができました。生徒たちの発表を見て、4月からの生徒一人一人の活躍が更に楽しみとなりました。

4月からいよいよ新たなスタートが始まります。新たな環境を前に様々な不安があるかと思いますが、保護者の方、会社・事業所の方、福祉事務所などたくさんの方々がお子さんを支えてくれています。もちろん、学校もフォローをしていきますので、卒業後も遠慮なく御相談ください。そして、その際には在学中の時と同じように、これからどうすれば良いか一緒に考えていきましょう。

卒業後も私たち教員は陰ながらとなりますが、お子さんを応援しています。社会人となりたくましくなったお子さんと再び会えることを楽しみにしております。

(本橋・江川)